



貴重書

国
特別
1965

国
2
103
4

天保十五春

上

六百十

英男
紅梅の振袖姿
金冊



天册十二区五卷

繪卷

紙本

其畫聖古蘇林
 瑞英堂

京師南觀四丁目

英皇御覽上

全六冊

一册卷五紙畫

美國且笑齋書



美圖垣笑顔著

猛齋芳席画

全六冊

白梅の若衆振

紅梅の振袖姿

英勇男女競上

京橋南傳馬町二丁目

地本

紅英堂

葛屋吉藏梓

錦繪

ア306531



天保十二年丑子春

御子さま方の御好む昔より豪傑の水滸傳小名と揚一勇斎が教子
 若手の英勇筆の力の看官の山をもぬくべき一猛斎齡もたける一方の大
 將とんと人の上手お目につけと己が下手お心もつとを綴一のゆりなまくる昔の
 敏る磯辺の漂くをかきちり〜る浪のむいこの海なるのがりなり

天保十二年春

竹芝の浦小渡の
いとま愛亭主人

美圖垣笑顔著



壹



阿立矢四郎景盛

仕へんぎやさう景盛
 彼が艶色ふきひて桃心と
 久も生質色くくと好まかつて
 主の不仁非義をのさめて禍ひ竟め△



△その身おあふされ
 容貌の美しきあると小町
 由今世あふ恥づく且
 大カを双やと巴出前の
 再来るるまじん
 板額又せぬ
 どんが

山樹公介
 右五門の娘
 勝美三女
 くらみうごと
 有り伯父太舟
 成長阿立景盛
 るふ伊葉良の方



阿立家の浪人仁九谷
 郷八郎後千葉
 の家臣とるり
 剣術の師範
 強氣奇
 暴行





松枝武者五郎益満万走不
當の勇士申て親兄の仇を
討て孝義と世に申せり



五郎益満の針三

針三が娘於松

松

二



権

三





あんなにうらやまをいふ女は
 中かきでもあんなにうらやまをいふ女は
 まけるあんなにうらやまをいふ女は
 うらやまをいふ女は

あんなにうらやまをいふ女は
 中かきでもあんなにうらやまをいふ女は
 まけるあんなにうらやまをいふ女は
 うらやまをいふ女は



あんなにうらやまをいふ女は
 中かきでもあんなにうらやまをいふ女は
 まけるあんなにうらやまをいふ女は
 うらやまをいふ女は

あんなにうらやまをいふ女は
 中かきでもあんなにうらやまをいふ女は
 まけるあんなにうらやまをいふ女は
 うらやまをいふ女は

文
圖書
年度

文
L
3